

第5学年 社会科学学習指導案

日時 平成16年 9月3日(金) 研究授業
場所 5年 2組教室
児童 5年 2組 40名
授業者 及川 順子 (5年社会科教科担任)

1 単元名 工業生産を支える人々 1 自動車工場をたずねて

2 単元の目標

- ・ 自動車工場の立地条件や生産の仕組みや様子, 自動車生産に従事している人々の工夫や努力を具体的に調べ、我が国の自動車生産に関わる産業の特色と国民生活を支える役割を果たしていることを理解する。
- ・ 自動車生産に関する写真や地図, 統計などの資料を収集・選択し, 図や表に整理し国民生活を支える自動車生産が果たしている役割を考えることができる。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第5学年内容、『(2)「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き』を受けたものである。

我が国の主要産業である自動車産業は、近年めざましく発展し、生産額や輸出額においても大きな割合を占めている。また、各種工業との結びつきも深く、日本の工業生産の特色を理解させていく上で効果的な教材であるばかりでなく、私たちの生活に深く関わっている点で、身近で考えやすい格好の教材である。

自動車は、主に原材料を輸入し、様々な関連工場で部品が作られ、組み立て工場で組み立てられる。その過程を学習するに当たって、町内に自動車工場があり、そこに関わって働いている人々が身近な存在であるので、自動車生産に従事している人々の工夫や努力を理解する上で積極的に資料の収集に関わりながら、考えることができる教材であるともいえる。

そこで、自動車工場での原材料の確保、製造の過程、製品の販売や消費地への輸送、新しい技術の開発、資源の有効な利用と確保、環境保全の取り組みなどにおいてどのような工夫や努力がなされているかについて具体的に考えさせながら、消費者の様々な需要に応えていることを理解させていく。

もう一つ考えなければならないことは、工業生産と環境との関わりである。工場の生産性の向上と廃棄物の再利用との関わりなど、工場を取り巻く環境の問題は、工場がそばにあることでより身近な問題であり、自分たちの問題として考えていく必要がある。

《本単元で身に付けるべき基礎・基本》

自動車生産の様子について問題意識を持ち、学習の見通しを持って追究しながら、従事している人々の工夫や努力について基本的な理解をすることと、これからの課題や問題点について学び合いを通し、他の意見を取り入れながら考えること。

具体的な地図、統計などの各種資料を活用して具体的に調べ、わかったことを表現すること。

(2) 児童について

7月に実施した意識調査から社会科の学習を「好き」または「どちらかというが好き」と答えた子どもが75%であった。好きな理由としては「調べ学習、いろいろなことを学べる」などをあげている。

問題解決的な学習に関しては、調べ学習を意欲をもって取り組もうとする子どもが多い反面、どのようにして調べるかといった課題追究については十分な力がついていないといえない。各種実態調査から、特に表やグラフなどの資料の読み取りが弱いことが分かる。

学び合いについては、互いの意見や考えを聞き、発表しようとする子が多い。しかし、子どもたちどうして話し合いを深め、考えを深め合おうとするまでには至っていない。

事前に子どもたちに対して自動車の生産についてのアンケート調査を行った。その結果、自動車の生産の工程を知っていると答えた子どもが7%、自動車の生産における人々の工夫や努力をとらえているまたは、関心のある子どもが32%、関連工場について知っている児童が7%、自動車産業においても環境との関わりで気をつけていることについて気づいている、または興味がある子どもが14%であった。比較的自動車生産について理解・関心のある項目としては、自動車生産への消費者のニーズについてが42%である。

以上の結果から、子どもたちの自動車産業についての理解、関心は低いことが分かる。町内に自動車工場があり、子どもたちの身近な人が自動車生産に密接に関わっている自動車工場の学習であるにも関わらず、関心が低いことは、前単元で学習した水産業と同様、直接触れる経験がないということに起因していると考えられる。

(3) 指導について

金ヶ崎町の子どもたちであっても、他市町村の子どもたち同様、自動車工場の学習は、学習内容の中心となる生産活動の様子を子どもたちが直接見学したり、体験したりすることが企業の経営の都合で難しい。したがって写真やグラフ等の資料の読み取り、問題を追究し解決していくことが学習に中心となるため、学習への興味・関心を高める工夫が必要となる。

子どもたちの身近にある自動車を観察することを追究の窓口として学習を進めながら、自分で資料選択・収集を行い、自分で調べ、考えるという問題解決的な学習が展開できるようにしていく。特に、資料収集及び分析・活用に関しては、子どもたちの実態の弱さということを受け、焦点化し、重点的に取り上げていきたい。さらに、意図的に学び合いを取り入れることにより、本単元で身に付けるべき基礎・基本のより確かな定着・深化を図りたいと考える。

つかむ 段階では、働く人たちの様子を直接目にするのが難しいため、ビデオ資料等を活用することにより、状況を具体的につかませ、子どもたちの調べる意欲が持続できるような課題を設定する。

しらべる 段階では、児童の主体的な追究活動が展開されるよう支援を行う。特にグラフの読み取り、活用に関わっては、基本的な読み取りについて再度確認しながら調べ学習ができるようにする。問題追究はどうしても図書資料に偏りがちになるが、知識を広げることだけでなく、より实际的・具体的な自動車生産業に対する理解が図られるよう、できるだけ子どもたちの身近な生活に基づいた資料や自動車産業にたずさわる人々の生の声分かるような資料を準備していく。また、インターネットの活用、電話、ファックスなどによるインタビューなども積極的に取り入れていく。

また、子どもたちに基礎・基本を定着させ、深めさせるために学び合いを工夫する。

学び合いについて

学び合いの形態は、基本的には、子どもたちのグループによる学び合いが主になることから、できるだけ机間巡視を行い、普段学習に興味関心の低い子どもに支援を行うようにする。

学び合いの進め方は、学び合いの進め方の基本形をもとに、できるだけ子どもたち自身で学び合いが展開できるようにする。

本単元の基礎・基本である自動車生産についての問題意識をもち学習の見通しをもつこと、基本的な理解をもとに、学び合いによってさらに自動車生産に対する認識が深められるような手立てとして学び合いを設定していく。特定の子どものみが突出しないよう、どの子どもも学び合いに参加できるような場の工夫をしたり、支援を加えたりしていく。

まとめる・ひろげる 段階では、調べたことをもとに、自動車生産の生産性の向上と人の働きやすさや自然環境との関わりからの観点から、働く人々の工夫や努力を自分なりの考えを整理させ、「2 自動車がとどくまで」の学習へとつなげていきたい。

単元の指導・評価計画（本時5時/10時間）

単元	【単元の目標】 ・ 自動車の組み立てとシートづくりの仕事について調べ、工場で働く人たちの努力や工夫、願いをとらえるとともに自動車工場と部品との結びつきに気づくことができる。 ・ 自動車に乗る人たちの願いについて調べ、「安全で、人や環境にやさしい」自動車工場づくりが進められていることに気づくことができる。	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
		・ 自動車の生産に関心を持ち、携わる人々の工夫や努力、願いについて進んで追究しようとする。	・ 自動車生産の様子について問題意識を持ち工場がつくられたわけや働く人々の願い、自然環境との関わりについてについて考え、適切に判断することができる。	・ 自動車生産と乗る人の願いや環境とのかかわり、自動車生産に従事している人々の工夫や努力について、見学や統計など各種資料を活用して調べたり、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現したりすることができる。	・ 自動車生産に従事している人々は、生産を高めたり乗る人の願いに答えたりするためにさまざまな工夫や努力をしていることについて理解することができる。

過程	単位時間ごとの計画				上段 評価 規 準				支援計画 努力を要する子
	小単元	時	目 標	学習内容・活動	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	知識・理解	
つかむ	・オリエンテーション 問題把握をする。	1	・ 代表的な工業製品である自動車の観察を通して、工業について興味や関心を持ち、調べてみたいようとする意識をもつことができる。	・ 自動車をよく観察して、新しく発見したことや疑問に思っていることをカードに書き出す。 ・ 自動車づくりについて調べたいことを話し合う。 ・ これから調べていく学習問題をまとめる。	・ 自動車を観察することから工業生産に関心を持ち、調べようとするができる。 ・ 自動車を積極観察して、発見したことや疑問に思ったことを自分なりに整理している。 ・ 自動車を観察して、同じところや相違点を見つけている。 (発表・ノート)				自動車の何をみたらいいのか観点をカードに書くようにさせる。
	(1)自動車づくりにはげむひとびと ・パンフレットをみて 課題設定をする	2	・ 自動車づくりの写真をもつとに、それに携わる人たちの工夫や努力などについて自分の疑問点の解決方法を見つけ、調べる計画を立てることができる。	・ 自動車づくりの写真を見て、気がついたことや自分の疑問点などを発表し合う。 ・ 自動車工場の見学で調べたいことをグループで話し合う。 ・ 話し合ったことをもとにカードに書きだす。 ・ 課題をつくる。	・ 調べる計画をたてることができる。 ・ 根拠のある予想や、見通しのある課題をたてようとしている。 ・ 予想し、課題をたてようとしている。 (発表・カード・ノート)				疑問点はどんなだったかを確認し、結果の予想をたてさせる。
しらべ	・工場の見学に出発! 追究活動をする	3	・ 自動車の見学や資料の読み取りを通して、自動車ができるまでの様子やここに工場がつくられたわけなどをとらえることができる。	・ 写真や配置図、地図などをもとに、工場の場所、広さ、立地条件などを調べる。 ・ 配置図をもとに、自動車づくりの順序を知るとともに、工場配置の特色や工夫を考える。 ・ 航空写真や地図をもとに、自動車工場の立地条件を話し合いまとめる。	・ 工場の立地や配置の意味について、人やものの動きとかかわらせて考えることができる。 ・ 工場の立地条件について、自然や交通などとかかわらせて自分で分類することができる。 ・ 工場の立地条件について、自然や交通などの動きについてのキーワードをもとに整理することができる。 (ノート、行動)	・ 写真や地図から自動車づくりの順序や工場の立地条件を読みとることができる。 ・ 自動車づくりの順序をノートに書き表すとともに地図から、工場の立地条件について自然や交通をもとに探りノートに書き表すことができる。 ・ 自動車づくりの順序をのーとに書き表し、工場の立地条件についてノートに書き表すことができる。 (ノート)			航空写真や地図を実際に手にとり、自動車工場を探ることができるようにする。 工場の配置図に、自動車づくりの順序に沿って番号や矢印を記入させ、その特色や工夫をノートに書き込ませる。
	・自動車		・インタビュー	・自動車を組み立				・自動車づくり	自動車づ

<p>を組み立てる田中さん</p>	<p>4</p> <p>一活動を通して、組み立てラインで働く人たちが作業を分担したり、話し合いをしたりしながら早く正確に、安全につくる工夫をしていることに気づくことができる。</p>	<p>てる仕事の様子について気がついたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・自動車を早く、正確に、安全につくるためにどんな工夫をしているか調べる。</p>			<p>に携わる人たちは、自動車を早く、正確に、安全につくる工夫をしていることがわかったか。働いている人たちが、チームを組んだり無駄な動きを減らすために話し合ったり作業を分担したりしながら、作業を早く正確につくる工夫をしていることや、安全につくるためにロボットを導入していることをインタビューから整理してまとめる。 働いている人たちが、作業を早く、正確につくるために話し合うなど工夫していることや、ロボットを導入していることをインタビューから聞き取ることができる。 (発表・ノート、カード)</p>	<p>くり携わる人たちが、どんなことをしているかを聞き取るためのポイントがあるカードに書き込ませる。</p>
<p>・働く人や地域の環境にやさしく 【本時】</p>	<p>5</p> <p>・自動車工場では、地域の環境を守り、働く人の環境も整えながら自動車を生産しているところからとらえることができる。</p>	<p>・自動車工場の敷地や設備について、気がついたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・工場から出るゴミや働く人への配慮について資料から調べる。調べたことについて話し合う。</p>	<p>・自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整えていることに気づき、これからの自動車生産について考えることができる。 自動車工場では、地域の環境や働く人を思いやる工場づくりをめざしていることに気づき、資源の節約や再利用、水を汚さないための努力をしていることに気づき人と車の共生を社会全体が求めていることを考えることができる。 自動車工場では、地域の環境や働く人の環境を大切にするとこの考えのもとに、工夫や努力をしていることに気づくことができる。(発表)</p>	<p>・自動車工場が地域の環境や働く人の環境づくりの工夫や努力をしていることを写真や地図などの資料からみつけることができる。 自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える様々な工夫をしていることを理解し、工業の発展につながっていることを写真や地図・図など各種の資料から選んで読み取り発表し合うことができる。 自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える工夫や努力を資料から調べることができる。(行動・カード)</p>		<p>自動車工場では地域の環境や働く人の環境を整える工夫を水、ゴミなどに着目したアドバイスをもとに、資料からみつけることができるようにさせる。 なぜロボットが導入されたか働く人への配慮を復習させて、「働きたい自動車工場」への取り組みについて考えさせる。</p>
<p>・部品はどこから?</p>	<p>6</p> <p>・自動車のシートの生産や出荷の様子から、自動車工場との結びつきに気づくことができる。</p>	<p>・自動車ができてからどのくらいにどんな部品が使われているかを調べる。 ・シートがどのように生産され、自動車工場へ出荷されるかを調べる。 ・シート工場と自動車工場との結びつきについて話し合う。</p>	<p>・シート工場と自動車工場がシートの注文・生産・納品を通じて深く結びついていることに気づくことができる。 シート工場が、自動車工場の周辺に立地していること、工場の配置や働く人の</p>			<p>シートがどのように生産されているか、自動車工場との関係を図に書き込ませせて考えさせる。</p>

					流れ、出荷の工程などシートの注文・生産・納品において能率を考えていることについて気づく。 シート工場が、注文・生産・納品において自動車工場の生産ラインと深く結びついていることについて気づく。 (ノート・発表)			
	・自動車づくりを支える	7	・関連工場働く人たちの工夫や努力、思いについて調べ、自動車づくりを支える人々の協力や関連工場の働きをとらえることができるようにする。	・シート工場働く人たちの工夫や努力について調べる。 ・シート工場に部品を収める関連工場について調べる。 ・自動車づくりには多くの人の協力があることについて話し合う。			・自動車づくりは、自動車工場とその関連工場が協力し合い、計画的に進めていることをわかる。 働く人の話から、シートづくりの工夫や努力を読みとり、自動車工場と関連工場との関係で品質管理や注文への対応、コスト削減などの要望に応えながら、計画的に進められていることがわかる。 働く人の話から、工夫や努力をしながら自動車工場と関連工場との関係が計画的に進められていることがわかる。(発表)	シート工場働く人たちが、中網を受けてドンのことに注意しているかについて、カードに書かせ、とらえさせる。
まとめ	(2)自動車づくりへの願い ・どんな車に乗りたいの？ ・安全で人にやさしく まとめ	8・9	・自動車に乗る人の、自動車づくりにどのように生かされているかを調べるめあてをもつことができるようにする。 ・自動車会社では、「安全な車」や「人にやさしい車」を生産するために、様々な工夫や研究を進めていることに気づく。	・どんな自動車に乗りたいのかを聞いて調べ、話し合いながらまとめる。 ・新しい自動車が、自動車に乗る人たちの願いをもとに「安全で・人にやさしい車」をつくるためにどんな工夫や努力をしているか新聞にまとめる。	・人々がどんな自動車に乗りたいと考えているか、関心を持って聞き取り、話し合って確かめる。 自動車を利用する人が、どんな自動車に乗りたいと考えているか、項目をカードなどに整理しながら調べることができ、進んで発表する。 自動車を利用する人が、どんな自動車にのりたいか調べることができ、発表する。 (新聞・発表)		・新しい自動車は、乗る人の願いを生かして開発されていることがわかる。 新しい自動車は、安全性・コスト・快適性・環境にやさしいなど乗る人の目的や好みによって多種多様であり、その願いに合わせて開発されていること、社会もそれによってより高度なニーズを要求していくようになることがわかる。 新しい自動車は、人々の願いに合わせて開発されていることがわかる。 (新聞・発表)	昔の車と今の車の写真を見ることによって、自動車が乗る人の願いによって変わってきたことをとらえさせる。
ひろげる	・未来の自動車産業 ひろげる		・今までの学習でえたことを入れながら、「これからの自動車」について自分なりの意見を分りまとめることができる。	・参考図書・写真・パンフレットなどの資料を活用し、今までの学習を取り入れながら、これからの自動車に関心をもち、自分なりの言葉で意見文を書く。	・自動車産業が、働いている人々の工夫や努力に支えられ発展していること、これからの人々の願いを受けて生活の向上が図られることを考えることができる。 自動車産業に			自動車工場働いている人々の工夫や努力を具体的に復習しながら、安全や環境にさらに配慮し便利で快適な自動車づく

				携わっている人の工夫や努力でこれからも人々の多様な願いや環境に配慮した生産が続けられることを考えることができる。 自動車産業に携わっている人々の工夫や努力でこれからも生産が続けられることを考えることができる。 (ノート)		りをめざしていることを想起させる。
--	--	--	--	--	--	-------------------

5 本時の指導

(1) 目 標 自動車工場では、地域の環境を守り、働く人の環境も整えながら自動車を生産していることを資料からとらえることができる。

(2) 評価規準・具体の評価規準

評価規準	具体の評価規準	
	十分に満足できる状況	おおむね満足できる状況
【思考・判断】 自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える工夫や努力をしていることに気づき、これからの自動車生産について考えることができる。	自動車工場では、地域の環境や働く人を思いやる工場づくり車づくりをめざしていることに気づき、資源の節約や再利用、水を汚さないための努力などを行っていることに気づき、人と車の共生を社会全体が求めていることを考えることができる。	自動車工場では、地域の環境や働く人の環境を大切にするという考えのもとに、車づくりの工夫や努力に気づくことができる。
【技能・表現】 自動車工場が地域の環境や働く人の環境づくりの工夫や努力をしていることを写真や地図などの資料からみつけることができる。	自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える様々な努力をしていることを理解し、工業の発展につながっていることを写真や地図・図など各種の資料から選んで読み取り発表することができる。	自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える工夫や努力を資料から調べることができる。

(3) 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点	評価と支援 【具体の評価規準】(評価方法)
つかむ 7分	1 自動車会社の環境ロゴマークから、自動車工場では環境について取り組んでいることを予想する。 2 学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車会社の環境ロゴマークを提示し色、形などのデザインから気づいたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 水色 排水について 緑色の葉 工場の周りの植林など 赤のひも 人、土 	<ul style="list-style-type: none"> 予想の際には、身近な人が働いていることも想起させ、自然環境と働く環境の両方の意義についてとらえさせる。
し	3 地域の自然環境と働く人の環境を守るために、どのような工夫や努力をしているのか疑問や予想をする。 ・ 必要な資料	<ul style="list-style-type: none"> 水はどうしているだろう。 ゴミを少なくする工夫をしているのではないか。 資源を再利用しているのではないか。 働く人を守るためにロボットを導入していた。他にもないか。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【技能・表現】 自動車工場が地域の環境や働く人の環境づくりの工夫や努力をしていることを写真や地図・図などの資料からみつけることができる。</p> <p>1つの資料からだけでなく、他の資料と関</p> </div>

<p>ら</p> <p>べ</p> <p>る</p> <p>18分</p>	<p>を選択し，予想を検証しながら調べ学習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資料をあらかじめ絞っておき，その中から選択させる形で検証しながら調べさせる。 調べたことをはっきりさせるために，立場，効果を考えさせながら表にまとめさせる。わからない場合は学び合いで深めさせるために，空欄でもよいことにする。 <p>働く「人」にやさしい自動車工場</p> <ul style="list-style-type: none"> 台車の上下動 (無理な姿勢からの開放) ロボットの導入・金網等の防護設備 (危険な仕事からの解放) 冷暖房装置・空気清浄装置 二交代制・社員寮・食堂 (健康で快適な労働) <p>地域の「環境」にやさしい自動車工場</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅地から離れた立地 (静かさ) 排水濾過施設 (排水) 工場周辺の植樹(快適性と空気清浄) <p>企業側から地球「環境」にやさしい自動車工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ廃棄物の少量化 原材料の有効活用 エネルギーの有効活用 (企業倫理と信用性・経済性) 	<p>連づけながら，立場やその効果についての観点で整理しながらみつけさせる。また，発表を通して，他の考えや資料から自分の考えを深めさせる。</p> <p>それぞれの資料から特徴的なことをみつけさせ立場や効果にもいるいるあることに気づかせる。</p> <p>1つの資料から，1つの努力をみつけさせる。</p> <p>【思考・判断】 自動車工場が地域の環境や働く人の環境を整える工夫や努力をしていることに気づき，これからの自動車生産について考えることができる。</p> <p>各施設での資源の再利用や節約や水を汚さない環境保全の工夫や努力，働く人への配慮が，生産産性向上に役立ち，さらに労働力の確保、信用の向上など自動車工場発展につながっていることに気づかせる。</p> <p>工場からでる廃棄物の多さなどに着目させ，地域の環境へ影響や資源の無駄について考えさせ、工夫や努力の必要性について考えさせる。</p> <p>なぜロボットが導入されたか働く人への配慮を復習して気づかせ「働きたい自動車工場」への取り組みについて考えさせる。</p>
<p>し</p> <p>ら</p> <p>べ</p> <p>る</p> <p>15分</p>	<p>4 学び合いによって働く人や地域の環境を守るうとする努力や願いについて深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境を守るためにわたしたちがしなければならないことについて学び合いから考える。 	<p>【学び合いの形態】 一斉 ロールプレイングのような形で</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ環境や人にやさしい自動車工場をつくる努力をしているか、調べたことを立場にわけて話し合いながら学び合おう。</p> </div> <p>【学び合いの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「働く人」の立場から 「工場側」の立場から 「周辺の住民」の立場から 「取引をする企業や消費者」の立場から <p>学び合いに参加するのが，難しいと予想される子どもへの支援</p> <p>「めざせプラチナ工場」を合い言葉に自動車工場では，製品作りだけでなく，地域の環境や働く人にもやさしい工場づくりをしている。</p>	

ひろげ る 5 分	5 学習をふりかえる。 ・ ふりかえりカードに記入する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[評価の視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の定着 ・ 学び合いによる学習内容の深化 (ヒストグラム, 文章記述) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時での学びをふりかえらせ, さらに調べたい児童にインターネットで検索を紹介する。次時への意欲をもたせる。
--------------------	---------------------------------	---	---

(4) 板書計画

課題

工場の写真

自動車工場ではどのような地域の「環境」や働く「人」にやさしい自動車工場づくりの工夫をしているか調べよう。

[地域の環境に優しい = 環境を守る]

- ・ 原材料を有効に活用
- リサイクル ゴミを減らす
- 騒音 排水 排気

[人に優しい = 働く人を守る]

- 働きやすさ
- 安全
- 楽しさ
- その他

- 台車の上下動
- 冷暖房など
- 3 Kをさげロボット
- 防護装置
- 食堂など
- ISO2002 認証

廃棄物の量

自動車工場での勤務

めざせプラチナ工場

なぜ環境や人にやさしい自動車工場づくりをしているのか

「働く人」

- ・ 働きやすい

「自動車工場」

- よい自動車・生産性
- ・ ほこり

「工場周辺の住民」

- 安心して住める

信用
よい自動車
「取引をする企業・消費者」

まとめ

「環境や人に優しい自動車工場づくりの工夫や努力」

よりよい自動車づくり

ほこり, 信用,